

## < 肝付町役場 様

共催: ケアニンず～(地域ケアを支える仲間たちの集い実行委員会)・肝付町社会福祉協議会 >

上映日: 2018/03/11(日) 場所: 肝付町文化センター(鹿児島県肝属郡肝付町)



実行委員会・ボランティア・ゲストの方々の集合写真



当日は学生、町民、介護職員など300名以上が来場

## 上映会を開催してみて、地域の方々に及ぼす映画の影響をひしひしと感じています。

### ●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

高齢化が加速している肝付町では、平成22年より「みんなでつながりながら頑張っている多職種の方々」と「支えあいながら暮らす地域の方々」の活動をつなぐ場として、「地域ケアを支える仲間たちの集い」を実施しています。

今年のテーマは「介護の素敵さを伝えたい！」でした。介護と聞くと辛さや困難さのイメージが強く、職業選択されにくい現状があったり、介護職の方々からも職場のモチベーションが上がらない、理想と現実のギャップに悩むなどの声が上がっていたからです。

そこでまず介護事業所のスタッフさんよりこの会の実行委員を募集し、みんなで現状を共有しました。その中で、試写会に伺った包括スタッフからケアニンの上映の提案を受け実施を決めました。その後は毎週のように集まり具体的な企画を立て準備をしていきました。

### ●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

介護事業所有志・包括支援センター・役場の企画調整課(AI・IoT実装推進係)の職員です。

### ●協力の得られた団体はありましたか？

肝属東部医師会に後援いただきました。依頼文書を持ちお伺いして、お願いしました。

### ●資金はどのように捻出しましたか？

今回は講演会費として計上していた費用から捻出しました。

### ●地域へどのように告知をしましたか？

回覧板を利用した各戸配布・人海戦術・スーパー等への掲示 学校関係は訪問して掲示をお願いしました。

またテレビ会議で当日登壇予定のゲスト(加藤忠相さん・森田洋之さん)からの話を聴き、様々な年代からの参加を呼びかけるために小中学校・介護医療系の学科を持つ高校・高齢者のサロン・介護事業所への呼びかけ等によりチケットを配布していきました。

### ●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

「泣き笑いをしてすっきりした」とお帰りになった介護者の方がいました。その方に象徴されるように、何かすっきりとした表情で「もう一度見たいです」と言われる方が多かったです。

他にも事業所の方々からは「モチベーションが上がった」「新人さんもベテランさんも同じ目線で話ができるようになった」、介護者の方からは「認知症の介護を前向きに捉えられるようになった」などの感想をいただきました。

また当日は開場時間を早め、映画の上映だけでなく食・移動・IT等をキーワードにした体験の場提供し、コミュニケーションの場を作りました。

上映会を開催してみて、地域の方々に及ぼす映画の影響を今ひしひしと感じています。物語を通して自分や家族を投影し内観する時間になり、だからこそ共感度合いも深いのだと思います。

### ●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

この映画の持つ力は偉大です。ぜひ多くの方に観て頂けるよう工夫してください！

ご担当者:  
肝付町役場 福祉課 介護保険係  
能勢佳子さん